

津久井市 障がい者施設で起こった事件についてのメッセージ

そこで暮らす方にとって最も安心できるはずの場所で、多くの尊い命が人の手によって奪われたことに悲痛な思いを抱くとともに、犯行に及んだ人間が「元職員」と語り、障がい者に対する偏見に満ちた思考のもと凶行に及んだことに強い憤りを感じています。

さらに私たちは、この報道を受けて、世の中の方々が障がい者を特別視したり、措置入院や施設への「隔離」する考え方が助長され、「共生社会」の実現に逆行する風潮が生まれ拡大してしまうのではないかと危惧しています。

今回の事件によって、地域で暮らしている方々から不安の声が届いています。「戦後最悪」などの見出しがつく特異な事件ですが、私たちは冷静に受け止め、今までどおりおひとりおひとりの障がい者の方が、かけがえのない、大切な存在であることをしっかりと意識して、地域社会で安心して生活できるようにサポートしていくことを決意しました。

■最近のトピックス

♣ 就労継続支援A型事業所 「Jumpin'」 開所しました！



7月21日、「Jumpin'」の開所式が開催されました。

パンとジビエの製造工房を持ち、それぞれ製造・販売を今後展開していくそうです。

場 所:富士見町落合 9467-3
(しらかば園に隣接)

問合せ: tel (78-8823)

♣ セイムハート ～ ひきこもり家族会 ～

7月4日、諏訪合同庁舎にて、平成28年度ひきこもり支援研修会（諏訪保健福祉事務所主催）が開催されました。

講義・体験談発表・ひきこもり支援の活動報告・情報交換からなる、熱のある有意義な研修でした。その中で体験談を発表された、ひきこもり家族会セイムハートさんをご紹介しますと思います。

【ひきこもりについて】～ 体験談冒頭より ～

子どもが引きこもると親は辛いものです。また、世間体が悪い、育て方が悪かった、などと考えます。不安と焦りから子どもを責めていました。

しかし、どう対応したらいいのか取り組んでいくうちに、引きこもりは問題ではない事に気付きました。問題があるから引きこもっている訳で、問題を解決するために引きこもりが必要だと考えました。

とにかく引きこもりの子どもを、外へ引き出せばいいというものではありません。子どもが今の状態で社会へ出られるかどうか考えてみた時、そこに見えてくる幾つかの問題を解決しなくては、社会へ出ることは難しいと思います。

【セイムハートの活動】

専門家が入らず家族同士で話し合います。体験を共有することで、困っているのは自分ひとりではないと感じます。また、同じような体験をしている人と分かち合えると、気持ちの整理が付き前向きになれます。みんなで話し合うことで引きこもりに対して違う視点から考えることができます。

話し合った内容はプライバシーに関わるので、口外しない約束になっています。

日時：毎月第2金曜日 19：00～21：00

毎月第4土曜日 14：00～16：00（要予約）

場所：おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）

問合せ：セイムハート代表（山田）tel 090-2229-5689 ※18：00～21：00

諏訪保健福祉事務所 健康づくり支援課 tel 57-2927 ※平日 8：30～17：15

♣ みーたまさん、ゆるきゃらグランプリにエントリー！！



みーたまさんは、下諏訪町 御田町商店街公認のゆるキャラです。交流のある花田養護学校の生徒さんがデザインを担当、みーたまさんクラブが結成され、手作りで3D化！！

このたび、ゆるきゃらグランプリにエントリーしました。皆さんのあたたかい一票をお待ちしています。

7月22日～10月24日まで、「ゆるキャラグランプリ 2016 オフィシャルウェブサイト」から、登録IDごと毎日1回投票できます。

■自立支援協議会

♣ 療育支援部会

7月13日（水）第2回 部会

各市町村での連携（つなぎ）についてどのような取り組みをしているかの勉強会を行いました。上伊那圏域で作られた成長ダイアリーの紹介もしていただきました。どういう情報をどのようにつないでいくのか、それぞれの取り組みを知り、役立てていただければと思います。

7月22日（金）重心ワーキング

医療との連携について意見交換を行ないました。今後も意見交換を重ねていく中で、どうご本人を支えていけるのか考えていきます。

レスパイトサービスの要望としては重心児者の皆さんは安心と安全を求めているらっしゃる声

が多くありました。それと同時に、これはレスパイトに限ったことではないのですが、移動についても支援を必要とされていることが再確認されました。

♣ 権利擁護部会

7月8日（金）成年後見センター設置要望書提出についての報告会

3月18日に自立支援協議会、県弁護士会、県司法書士会など8団体で提出した、成年後見センター設置要望書に対する6市町村よりの回答について、報告会を実施しました。協議会と関係団体から16名出席がありました。必要性は認めるが市町村毎受け止めに温度差があった回答を確認し、今後も働き掛け・研究を継続することとなりました。

7月20日（水）第2回部会 於 諏訪市総合福祉センター 13:30~15:10 出席15名
成年後見センター設置要望について今後の方向性の検討、他圏域成年後見センター見学について、長野県地域生活定着センター見学・研修について等協議しました。

■お知らせ

「オアシスでは電子メールで個人情報をやりとりしません」

オアシスでは、近年電子メールを使用した連絡等が増してきたことから、個人情報の扱いについて適切になされているか検討を始めました。

その中で、電子メール添付で個人情報がやり取りされていることは、非常に危険ではないかと問題提起され、現状を踏まえてセンター内で検討しました。

その結果、オアシスは電子メール添付で個人情報を発信・受信しないこととしました。

関係の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

♣ 障がい者スイミング教室のサポーター募集！！

オアシスでは、身体障がい及び知的障がいをお持ちの方を対象に、月2回水泳教室をすわっこランドで、障がい者スポーツ支援センター松本「サンスポートまつもと」の講師に毎回来ていただき、ボランティアのサポーターさんと一緒にスイミングを楽しんでいただく、という目的で行っています。

現在、新たに障がい者（身体・知的）対象のスイミング教室のサポートをしていただける方を募集しています。

募集対象：諏訪地域にお住まいの方で水泳が好きな方

サポーターには専門の講師による研修を実施します。

活動日時：例年5月より月2回（第2、4火曜日）で、午前10時~12時の2時間（翌年2月まで）

※ 教室への参加は都合のつく日で結構です。その他詳細はお問合せください。

活動場所：諏訪市 すわっこランド

募集期間：随時

申込み・問合せ：オアシス（tel 54-7713、fax 54-7723） 担当：渋谷・武井



♣ **8月のパン販売予定**（諏訪市総合福祉センター1階 就労継続支援A型事業所『BAITEN』）

はっぴーおじさん：5日（金）、12日（金）、19日（金）、26日（金）

こころ屋：1日（月）、8日（月）、22日（月）、29日（月）

いちやまマート：2日（火）、3日（水）、9日（火）、10日（水）、16日（火）、17日（水）、23日（火）、24日（水）、30日（火）、31日（水）

パンDEチーノ：4日（木）、18日（木）、25日（木）

■ **研修会・研究会・イベント情報**（詳しい内容は、各団体またはオアシスまで）

♣ **サンスポートまつもと 夏季短期水泳教室 in 諏訪 参加者募集中！**

プールを楽しみたい！泳ぎがうまくなりたい！そんな方はぜひ「水慣れ」や「泳ぎ」を身につけて水泳を一緒に楽しみましょう。

開催日：8月19日（金）、20日（土）、27日（土）、28日（日）

時間：15：00～16：00

会場：すわっこランド プール

対象：諏訪圏域在住の障がいのある方【小学生以上（小学生は介助者同伴）】

定員：10名程度

費用：プール利用料として、子ども（中学生以下）1人250円、大人1人460円

※主催者側でスポーツ傷害保険には加入しておりません。必要な方は各自任意でご加入ください。

募集期間：7月10日（日）～8月10日（水）

申込み：申込書・健康チェック表・誓約書に記入のうえ、サンスポートまつもと（tel0263-88-6826）へ

♣ **第4回長野県の聴覚障害者の就労と雇用を考える集い**

聞こえないことによる労働における課題を浮き彫りにし、当事者・企業・支援者等の皆さんと一緒により良い就労と雇用への方法を考えていくことを目的としています。

8月19日（金）13：00～16：00（受付12：30～）

場所：長野県長野ろう学校 会議室（長野市三輪1-4-9）

内容：講演 「聴覚障害者とともに働く ～これまでも、これからも～」

講師 TDKラムダ（株）生産総括部製造部グループマネージャー 早川かつみ氏

：発表 TDKラムダ（株）生産総括部製造部社員 阿部利一氏（聴覚障害者）

対象：関心のある方どなたでも参加できます。参加費：無料

※手話通訳、要約筆記、磁気ループを用意しています。

申込み：8月14日までに、長野県聴覚障がい者情報センター（fax026-295-3567）へ

♣ **ガレージとーく『うつ病で、語る、つながるミーティング』**

うつ病当事者や家族のピアサポートの場です。周りの人にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」と当事者同士で分かち合い、繋がりや癒しを感じてみませんか？

8月21日（日）13：30～16：30

会場：塩尻市市民交流センターえんぱーく 2F 203 会議室

対象：うつ病の当事者（家族、支援者も可）

定員：8名（先着順）

参加費：500円（会場費・運営費として）

申込み：NPO うつリカバリーエンジン（長谷川 tel090-4823-7494）

♣ 世話人連絡会勉強会 ～ 地域生活支援部会 ～

県出前講座を利用した勉強会を開催します。

8月24日（水） 13：30～

場所：いきいき元気館 会議室

問合せ：オアシス（tel54-7713）担当 中村

♣ しょうがいの理解と支援 暮らしを創る ～長野県作業療法士会 第57回市民公開講座～

作業療法では、その人にとって意味のある作業を発見し、その人らしい生活の実現を目指します。「しょうがい」を持ちながらもその人にとっての作業を見つけていくにはどのように支援していけばよいのか、一緒に考えてみませんか？

8月27日（土） 13：30～16：30（受付 13：00～）

会場：宮田村 村民会館

分科会C「老年期における特有の精神障害」

分科会D「発達障害の理解と視覚支援」

参加費：無料

申込み：（一社）長野県作業療法士会ホームページ・専用フォームで先着順に受付、定員を超えた場合のみ、連絡あり。

♣ 今、知っておきたい成年後見制度 ～ 自分らしく生きるための終活 ～

認知症になっても、障害があっても、住み慣れた地域で自分らしく生きたい。最後まで自分らしく生きるためには、今から準備をしておくことが大切です。成年後見制度について学びながら「終活」について考えてみませんか？

8月27日（土） 13：30～15：30

場所：諏訪市総合福祉センター3F 交流ひろば

講師：NPO 法人 ライフデザインセンター 久島 和子 氏

参加費：無料

申込み：事前の申込みは不要、グループ・団体で多人数参加の場合はご連絡を。

問合せ：諏訪市社会福祉協議会（tel 52-2508）まで

♣ おたまじゃくしの会 ～ ゆっくり ゆったり 楽しもう ～



自分自身の障がいについて学び、仲間とともに暮らしやすい地域づくりを目指します。

【8月定例会】 会食会

8月27日（土） 10：00から

場 所：ひまわりの里

会 費：おおよそ300円

問合せ：オアシスへ電話（74-7713）かメールで。

♣「こんなときどうする？～通常学級の指導～」 諏訪地区特C○特別支援教育研修会A

クラスの中で支援が必要なお子さんたちに、行事への参加はどうすれば？グループ学習の際は？宿題は？など、こんなときにどうすればよいのかを具体的にお話いただきます。

日 時：9月3日（土） 13：00～16：00

講 師：両川晃子講師

場 所：諏訪市総合福祉センター交流ひろば

参加費：1000円

申込み：8月29日までに花田養護学校 FAX（26-1000）

■リレーずいそう 第38回

『電車の旅、町の風景』

【ゆらり相談支援センター・ゆらりのどか・ゆらりすてーじ 中村 修さん】

電車の旅が好き。東は北海道網走、西は九州長崎まで、新幹線でひゅーんと、鈍行でのろのろと、寝台列車でまったりと……



まずは愛読書時刻表を片手にどこに行こうかと考える。時刻表上ではもう何十回も日本一周している。時刻表をぼーと見てみると実に面白い。なんでこんな駅名なのか、一日1本しか止まらない駅はなんであるのか、そもそも何でこんなところに電車が走っているのか、などなど「轟木」「風合瀬」「艦作」読めますか？東北のある路線の駅名。何でこんな駅名になっているのか知りたくなった。で、電車に乗って行って見た。この路線は日本海沿いを走っていて

車窓は一面海。しかし逆の車窓は世界遺産の白神山地が広がっている。海からの風が山地にぶつかる地で、少ない土地にへばりつくように集落が点在している。特に冬は風が強く、電車が運休したり、転覆事故まであったとのこと。

実はここは昔、貨物船（北前船）の寄港地深浦港に近く、大坂(大阪)・京から敦賀・日本海経由で北海道まで帆船が行き交う重要な地であったことがわかる。この地にとって「風」は大坂・京からの物資や文化、都会の情報を運んでくれるとても重要な資源であり、「風」にちなむ地名一駅名が誕生したとのこと。2時間近くも来ない電車の待合にゆっくり町を散策してみる。「風」と共存する町の工夫があちらこちらで見られた。

一方、今は連続テレビ小説あまちゃんで有名になった(?)岩手県の三陸鉄道。東日本大震災では甚大な被害に遭い今なお復興半ばであるが、いち早く復旧し、地元の励みになったという鉄道である。国鉄時代は途中で路線が途切れていて南北通して乗ることができなかった。人口が少ない土地でもあるため、客もあまり乗らずやむなく廃止……しかし地元の人にとってはなくてはならない足であるとのことで、県・周辺市町村などが協力して第三セクターの鉄道会社を設立し、赤字路線を引き受け、途切れている路線もつなぎ、三陸沿岸を一本の線路でつないだという歴史がある。初めての第三セクターによる国鉄赤字路線の転換と当時は話題になった。

で、電車に乗って行って見た。県の中央部からJRで2時間弱。山地を越えるためのろのろとだらだらと進む。三陸鉄道に乗り換えるが、海はほとんど見えず…この地はリアス式海岸(のこぎりの歯のようにギザギザした形)で、海沿いには鉄路も道路も南北に貫けない地形である。

それでも海が見える駅「島越」で降りてみた。ここは三陸鉄道になってつながった新しい区間にある駅。開通から10年以上経っていたのに開業時の賑わいの写真やテレビニュースが放映されていた。待ちわびた開通を今でも喜んでいる様子が見て取れた。そんな駅だった。

この駅と線路地盤が地震の津波で流された。復旧が一番最後になったが新しい駅にこの地域の方の喜びがテレビで見ることができた。今行ったら以前と同じように喜びにあふれた駅になっているのだろうか。

電車に乗って行ってみると、様々な町の風景が見られる。そんな町を歩いてみたいためにまた電車に乗ってみる。次はどの町を歩いてみようか☆

(次は、SAKURA 岡谷 岡田さんをお願いします)



■オアシス情報

♣オアシス巡回相談

オアシスでは、諏訪地域にお住まいの、障害や難病のある方、ご家族の皆さんなどの相談に応じ、必要な支援や情報提供を行います。オアシスまでの移動手段のない方、事情がありなかなか相談できない方のために、お住まいの近くで相談会を実施します。

今回は、障がい者就業・生活支援センター「すわーくらいふ」と共催ですので、特に就労についてもご相談ください。

8月26日(金) 13:00~16:00

場所：茅野市 産業振興プラザ 担当：小澤・竹淵

相談費用：無料

申込：できるだけ事前に、オアシス (tel 54-7713) あてへお申込みください。

■8月の日程(自立支援協議会、オアシス)

8月1日(月) テルマ工会

2日(火) あそびのひろば

8日(月) デイケア

9日(火) サロン de てくてく

- 10日（水）精神障がい者地域生活支援についての検討会
- 15日（月）いきいき元気館休館日
- 16日（火）サロンde てくてく
- 18日（木）オアシス全体会
- 19日（火）サロンde てくてく
- 22日（月）相談支援部会、デイケア
- 23日（火）サロンde てくてく（体育館活動）
- 24日（水）世話人連絡会勉強会
- 26日（金）地域生活支援部会、巡回相談

■オアシスたいむ 34 『旅に出る理由』

8月は一年で最も出国者数が多いそうです。夏休みを利用して海外旅行される方が多いのでしょうか。海外でなくてもこの時期、旅行を計画されてる方は多いと思います。

日本旅行業協会が行った調査研究プロジェクトでは「旅行の最中は免疫力が高まり、肌や生活習慣病、ガンなどの老化防止の効果が期待出来る」との報告がされています。

精神的に疲れている方は、リラクゼーション効果の高い海へ、肉体的に限界がきている方は、疲れを取り元気になる物質がいっぱいの山へ出掛けると良いそうです。

ただ、旅に出るのに理由はいらないのかもしれませんが。5大陸最高峰に登頂した植村直巳さんも、大学の山岳部で同僚からアラスカ行き話を聞き「一度でいいから海外の山に登りたい」と思ったことが、後の冒険家と呼ばれるような活躍につながっていくこととなりました。

「行ってみたい」と思った時に、思ったところへ出掛けることで、その人にとって予想外の効果を生み出すのが旅の醍醐味かもしれません。